

# ガ ス

〈事業収益〉 282,305千円

ガ ス 売 上	262,538千円
営 業 雑 収 益	18,437千円
営 業 外 収 益	1,300千円
特 別 利 益	30千円

〈事業費用〉 280,819千円

営 業 費 用	244,472千円
営 業 雑 費 用	14,956千円
営 業 外 費 用	20,361千円
特 別 損 失	30千円
予 備 費	1,000千円

# 水 道

〈事業収益〉 204,700千円

営 業 収 益	199,700千円
営 業 外 収 益	4,970千円
特 別 利 益	30千円

〈事業費用〉 204,581千円

営 業 費 用	147,975千円	営 業 外 費 用	55,576千円
特 別 損 失	30千円	予 備 費	1,000千円

# 下 水 道

〈歳入〉 899,700千円

町 債	368,600千円	国庫・県 支出金	171,100千円	繰 入 金	251,600千円
使 用 手 数 料	55,632千円	そ の 他	52,768千円		

〈歳出〉 899,700千円

下 水 道 事 業 費	514,275千円	公 債 費	298,975千円
総 務 予 備 費	86,350千円	費	100千円

# 特別会計

## 一 ことしの

### 水 道

収益的収入は二億四七〇万円となり、同支出では二億四五八万一千円を計上しました。支出では経常経費の増と減価償却費三、七七三万七千円、企業債利息五、五四五万一千円を計上しました。資本的支出では、配水管整備事業五、〇四七万円・老朽管更新事業七、〇二四万三千円、その他公共下水道事に伴う水道管支障移設工事費ほか、企業債償還金二、三四八万九千円を

計上した結果、総額では二億一、六九〇万円一千円となつています。

### 下 水 道

平成七年度の下水道事業は、小須戸第一分區(矢代田地区)の一部供用開始をし、併せて幹線管渠工事及び市街化調整区域を対象とした特定環境保全公共下水道事業も着手の予定です。公共下水道事業費は、前年度より補助事業費では八、四〇〇万円の減で二億二、四〇〇万円、

単独事業費では五、四〇〇万円の減として一億一、〇〇〇万円を計上しました。本年度より特定環境保全公共下水道事業費として補助事業費一億一、〇〇〇万円、単独事業費五、四〇〇万円を計上しました。その他では、流域下水道建設負担金一、三一六万四千円、公債費で元金九、二七万八千円、利息で二億六七九万七千円を計上しました。これらについての財源は、国庫補助金で一億六、七〇〇万円、

県補助金四一〇万円、町債では、工事費分二億七、七一〇万円、未稼働資産分(資本費平準化債)八、八〇〇万円、流域下水道債三五〇万円を計上しました。その他では、小須戸第一分區(矢代田地区)の受益者負担金一、〇五二万一千円、下水道使用料で四、三三〇万九千円を計上し、一般会計から繰入金二億五、一六〇万円をもって、歳入歳出で、対前年度比九・八%増の八億九、九七〇万円となりました。

## 予算と概要

### 国民健康保険

### 国民健康保険

〈歳入〉 640,924千円

国民健康保険税	282,621千円	国庫支出金	191,053千円
療養給付費交付金	116,084千円	繰 入 金	45,563千円
繰 越 金	1千円	共 同 事 業 交 付 金	3,991千円
そ の 他	1,611千円		

〈歳出〉 640,924千円

保 険 給 付 費	397,478千円	老 人 保 健 拠 出 金	195,641千円
総 務 費	26,779千円	共 同 事 業 拠 出 金	3,992千円
そ の 他	17,034千円		

### 老人保健

〈歳入〉 1,014,574千円

支 払 基 金 交 付 金	697,242千円	国庫支出金	209,663千円
繰 入 金	55,276千円	繰 越 金	52,386千円
そ の 他	7千円		

〈歳出〉 1,014,574千円

医 療 諸 費	1,011,554千円	総 務 費	2,417千円
公 債 費	500千円	そ の 他	103千円

六億四、九一二万四千円とし、今後一層国保の健全財政保持のため努力を重ねていきます。尚、六年度同様に保険税負担の低所得層救済目的の保険基盤安定制度では、国が九%、県が1/4、残りを町が負担し、一般会計より合計で九二〇万二千円を繰り入れるものとなりました。

### 老人保健

平成七年度の医療諸費の総額は、十億一、一五五万四千円

### ガ ス

収益的収入では二億八、二三

となり、前年度に比べ〇・五%の減額となりました。この会計の医療費負担割合は、入院・外来・調剤等については、支払基金が七〇%、国が二〇%、県及び町がそれぞれ五%を負担し、施設療養費や老人訪問看護療養費については、支払基金が6/12、国が4/12、県と町が1/12ずつ費用負担することになっていきます。

〇万五千円、同支出では二億八、〇八一九千円を計上しました。収益的支出では、減価償却費増で、三五八万八千円・マイコンメーカー購入費二一四万円が増となりましたが、差引き一四八万六千円の純利益を計上することができました。資本的支出では総額一億四、〇五五万九千円を計上しました。主な事業としては、ガスパンの布設工事と公共下水道工事に伴うガスパンの支障移設工事等で一億一、六六〇万円を計上しました。

